



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●吊込み後、本体をゆすって外れないことを確認してください。吊込みが完了していないと、本体が落下するおそれがあります。

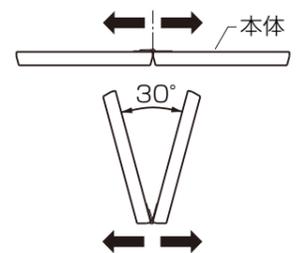
■本体の開閉操作上のお願い

本体を開閉する際は、下記事項を守って操作してください。

●本体をフラットのまま移動させます。

●30°の角度で本体が一時固定するようになっていきますので、この状態で移動させます。

※角度が30°未満の状態では移動させないでください。この場合、動きがギクシャクしたり下部のローラーがレールから外れたりする場合があります。



■取付け上のお願い

●本製品は上吊り方式のため、梁又はまぐさで重量を受けますので、本体重量に耐える断面の梁又はまぐさをご使用ください。(表-1)

梁又はまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱い場合のため直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けてください。

(表-1)

開口	本体重量
3尺間口	20kg
4.5尺間口	40kg
6尺間口	50kg
9尺間口	70kg

●枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。

●造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。

●かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。

●現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。

●かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。

●本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。

●本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)

●床材とツバ付薄下枠のすき間は5mm以内にしてください。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。

●枠組立て前に上レールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。

●各部材のガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。

●ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。

●上枠取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを変形させると本体の開閉不具合につながります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。

●ツバ材はハンマーなどで強くたたき込まないでください。

●フラット下レールを固定する床(下地)は、段差やすき間がないように仕上げてからレールを固定してください。

●フラット下レールや埋込下枠を取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。フラット下レール/埋込下枠が変形し、本体開閉不具合の原因となります。

●ガイドローラーを圧入する際は、樹脂部に当て木を使用してください。

●本体吊込みの際は、ガイドローラーが下レールに入っていることを確認し、ガイドローラーで枠や床面などにキズを付けないようにしてください。

●フリータイプの時に、本体を折った状態で向かい合わせになる本体それぞれに把手を取付けしないでください。把手同士が干渉してキズが付く原因となります。

●造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。

●壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。

●枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。

●造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。

●建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。

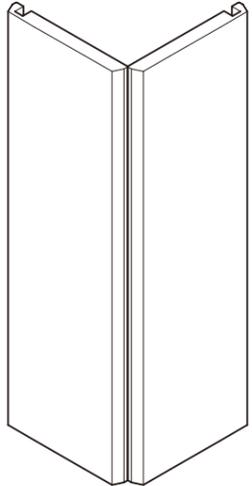
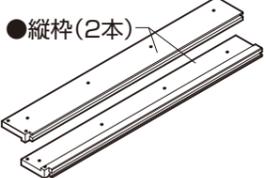
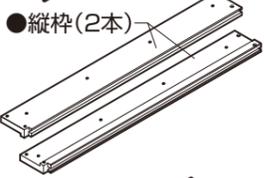
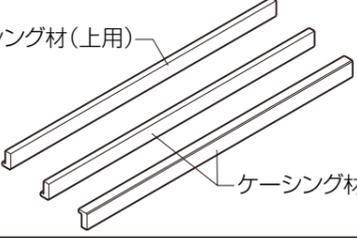
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 本体の把手に重量物をぶらさげないでください。把手が壊れ落下するおそれがあります。

■本体保管上のお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・昼夜などで温度差の激しい場所
 - ・湿気の多い場所
 - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

■部材の明細

折れ戸本体	3方枠	4方枠	3方枠用下枠		
			ツバ付き薄下枠	埋込下枠	フラット下レール
●クローゼット本体 	●上枠  ●上レール  ●縦枠(2本) 	●上枠  ●上レール  ●縦枠(2本)  ●下レール  ●ツバなし薄下枠 	●ツバ材  ●下レール  ●薄下枠 	または ●埋込下枠 	または ●フラット下レール 
ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)					
 ケーシング材(上用) ケーシング材(縦用)					

■本体用部品

	ガイドローラー	把手セット (ねじ付)	ガイドローラー 固定金具
W07・08	2	1	1
W12・13・16・18	4	2	2
W24・26・27	6	3	3

■3方枠・4方枠用部品

	皿小ねじ M4×50 (枠組立て用)		トラスタッピンねじ φ4×60 (上枠躯体取付け用)	皿タッピンねじ φ4×50 頭部シート色塗装 (縦枠躯体取付け用)	穴埋めシールシート	ワンタッチ吊車	本体召し合わせ部品	本体召し合わせ部品 固定ねじ トラスタッピンねじ φ3.5×16	召し合わせ部品 取付け説明書
	3方枠	4方枠							
W07・08	4	8	3	8	※1	2	—	—	—
W12・13	4	8	5	8	※1	4	2	4	1
W16・18	4	8	6	8	※1	4	2	4	1
W24・26・27	4	8	8	8	※1	6	4	8	1

※ノンケーシングタイプのみ

■下枠用部品

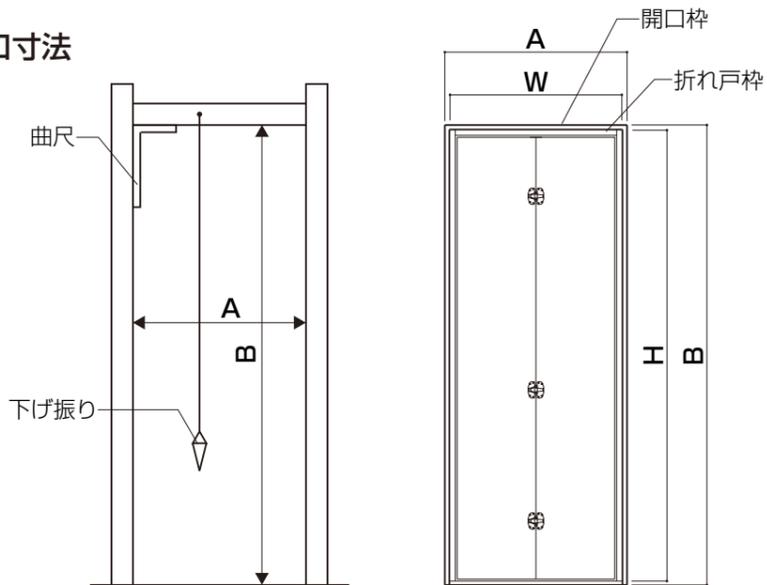
	トラスタッピンねじ φ4×50 (ツバ付き薄下枠組立て用)	皿タッピンねじφ4×18 頭部シート色塗装 (フラット下レール取付け用)	皿木ねじ φ3.5×20 (埋込下枠取付け用)	埋込下枠 端部ピース
ツバ付き薄下枠W07~W27	4	—	—	—
フラット下レールW07~W18	—	14	—	—
フラット下レールW24~W27	—	26	—	—
埋込下枠W07~W18	—	—	3	2
埋込下枠W24~W27	—	—	5	2

開口部の作り方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+10mm
開口寸法B	製品寸法H+床厚+5mm

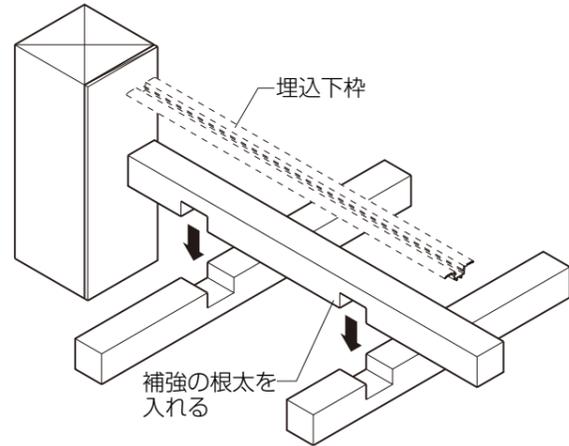
●開口寸法



床の張り方

1 下枠下地の確認

● 枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は下図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や本体開閉不具合の原因となります。



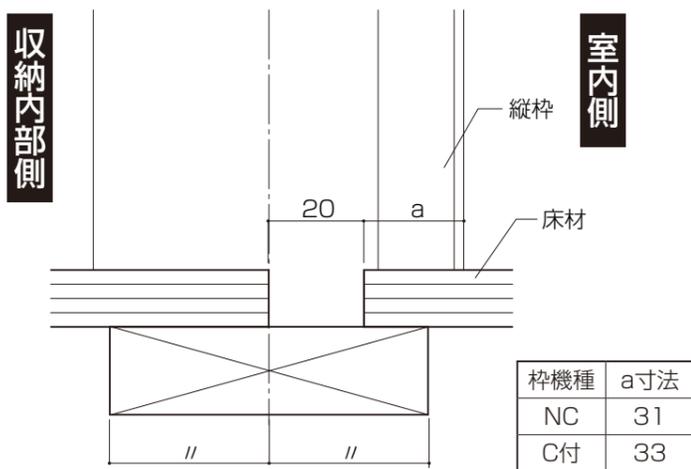
2 床張り位置

■床先張り(枠後付け)

【埋込下枠を使用する場合】

● 床材間に埋込下枠が入りますので、室内側縦枠木口からa寸法内側の位置に20mmあけて、床材を張ってください。

※ 床材の間口寸法(20mm)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。

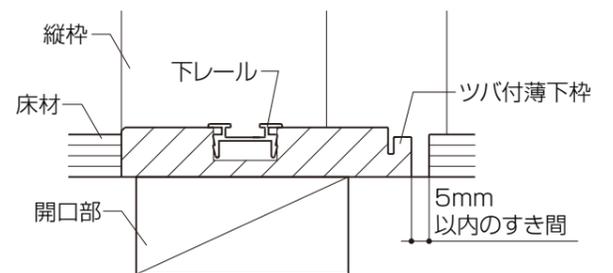


■床後張り(枠先付け)

【ツバ付薄下枠を使用する場合】

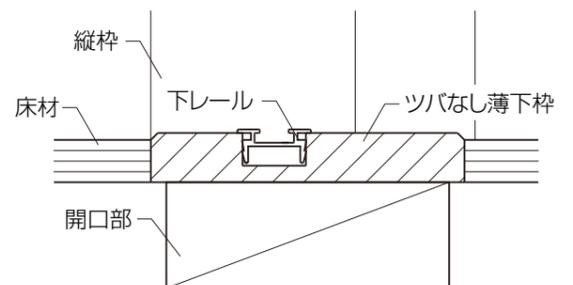
● 枠取付け後、下図のように床材を張ってください。

●お願い●
※床材とツバ付薄下枠のすき間は5mm以内にしてください。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。

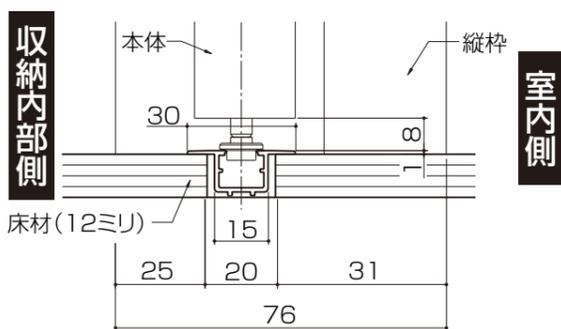


【ツバなし薄下枠を使用する場合】

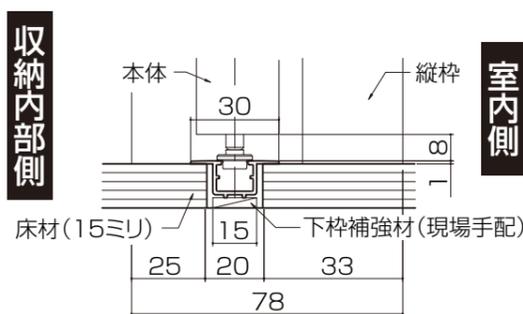
● 枠取付け後、縦枠・薄下枠にそって床材を張ってください。



【ノンケーシングタイプ】



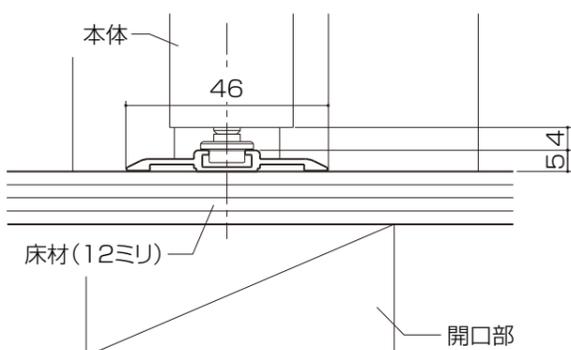
【ケーシング付きタイプ】



■床載せ納まり

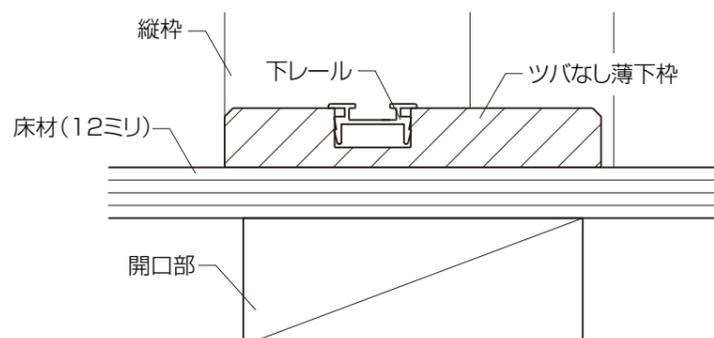
【フラット下ルールを使用する場合】

● 床材を張ってから枠を取付けてください。
※ 床材をあけて張る必要はありません。



【ツバなし薄下枠を使用する場合】

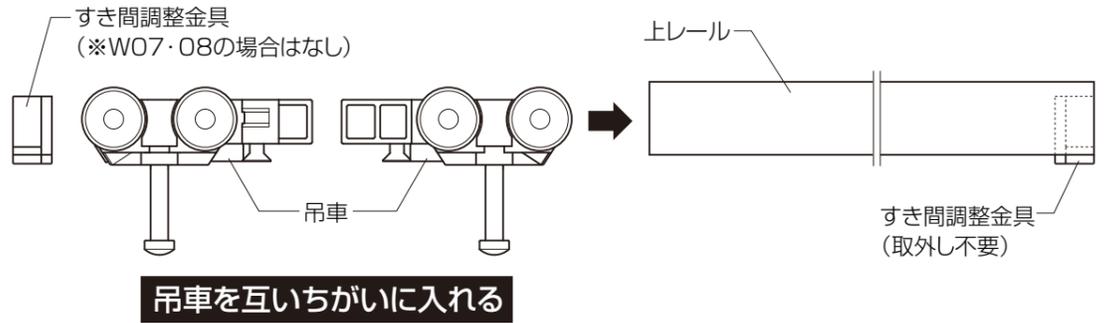
● 床材を張ってから枠を取付けてください。
※ 床材をあけて張る必要はありません。



■取付け順序

1 枠の組立て

- ①上レール端部(左右)に付いているすき間調整金具を片側のみ取外し、吊車を互いちがいの向きにして上レールに入れてください。
※W07、08の場合は片側にしかすき間調整金具が付いていないため、取外す必要はありません。
- ②吊車を上レールに入れ終わったら、すき間調整金具を元通りに取付けてください。



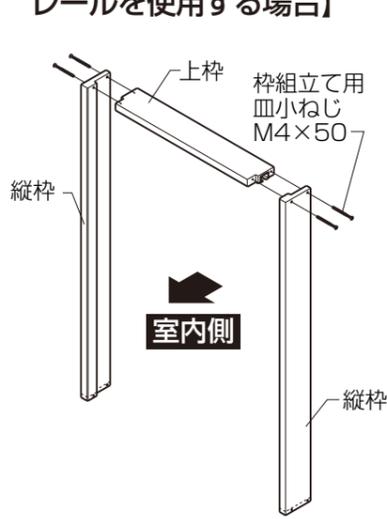
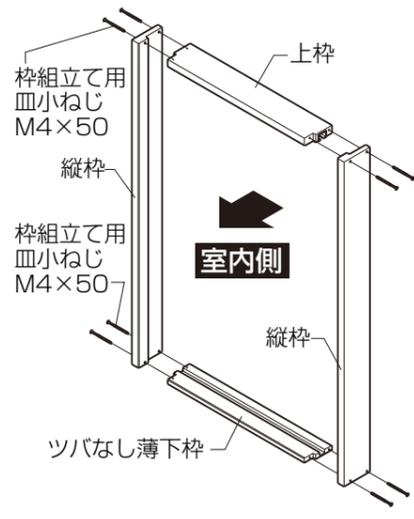
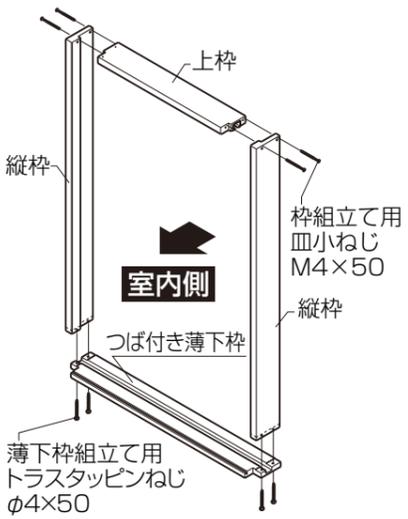
●お願い●
※枠組立て前に上レールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。

- ③下図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。

【ツバ付き薄下枠を使用する場合】

【ツバなし薄下枠を使用する場合】

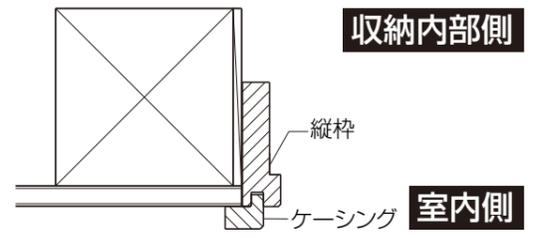
【埋込下枠またはフラット下レールを使用する場合】



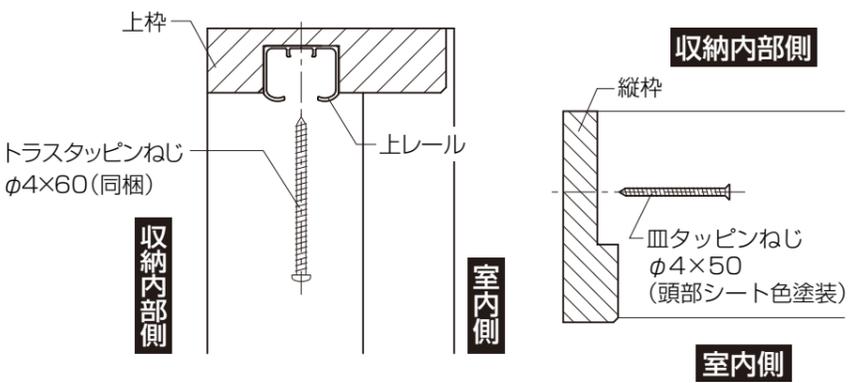
●枠組立て上のおお願い●
※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

2 枠の取付け

- ①組立てた枠を開口部に入れます。ここでケーシングタイプの場合は、縦枠にケーシングを差込みます。枠の固定位置を確認します。
※ケーシングの足は設定が限られており、後で調整することができません。このため、位置出しは確実に行ってください。
※ケーシングは、位置出しのためですので、固定はしないでください。



- ②組立てた枠を固定します。
※縦枠躯体取付け用の皿タップピンねじの頭と縦枠が面一になるまでねじを回して下さい。



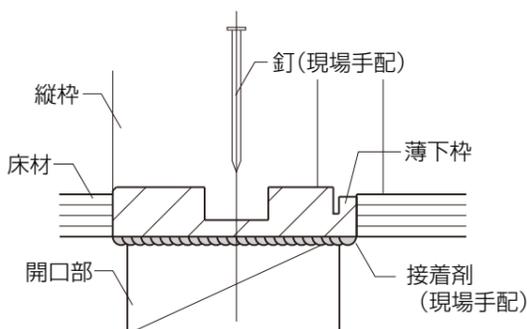
●上枠取付け上のおお願い●
※上枠取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを変形させると本体の開閉不具合につながります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。

【穴埋めシールの使用方法】
ノンケーシング枠において、折れ戸縦枠が、仕上げボード面よりも11mm以上出ている場合に使用してください。右図のように、穴埋めシールの木目方向を合わせて、組立てねじ頭部に張ってください。

■薄下枠の取付け(ツバ付・ツバなし薄下枠共通)

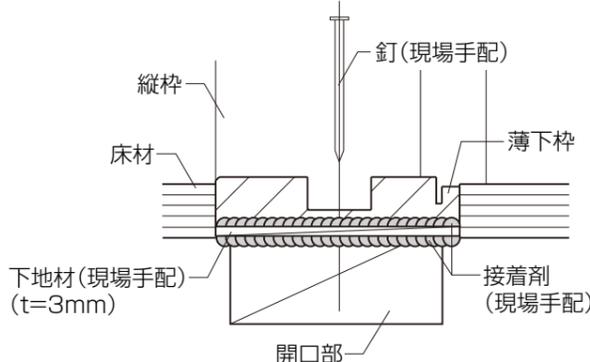
【床材厚さ12mm】

※必ず薄下枠に接着剤を付け、躯体に固定してください。



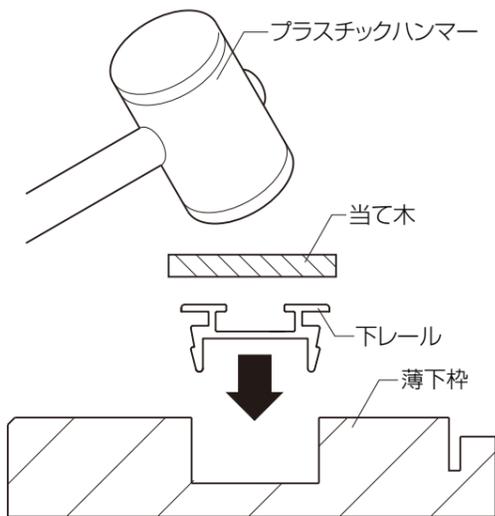
【床材厚さ15mm】

※必ず薄下枠と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。

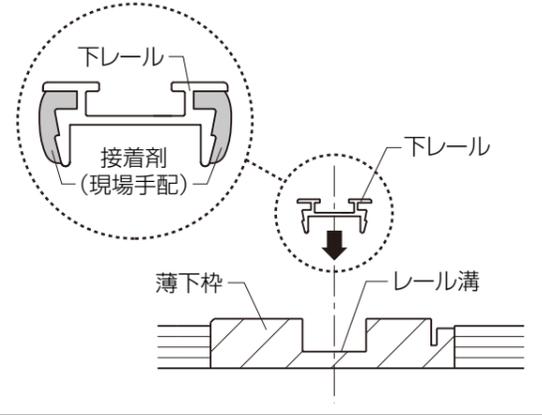


■下レールの取付け(薄下枠を使用する場合のみ)

●薄下枠の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。



※接着剤(現場手配)は、レール溝にガタのある場合に使用してください。

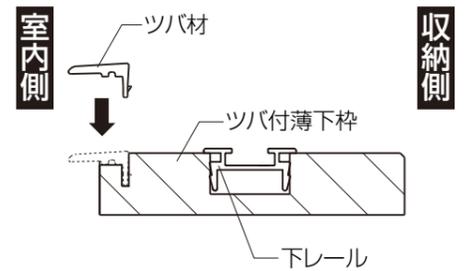
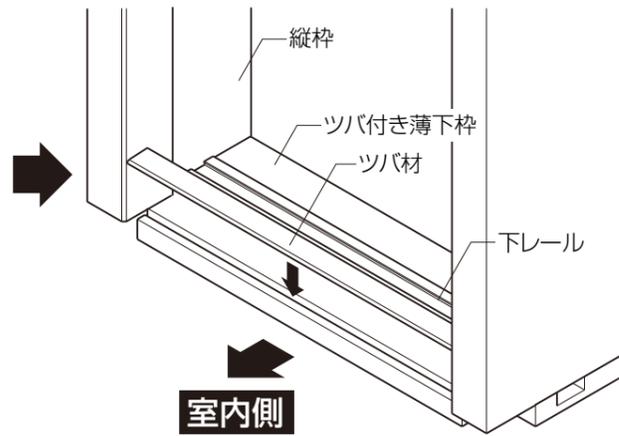
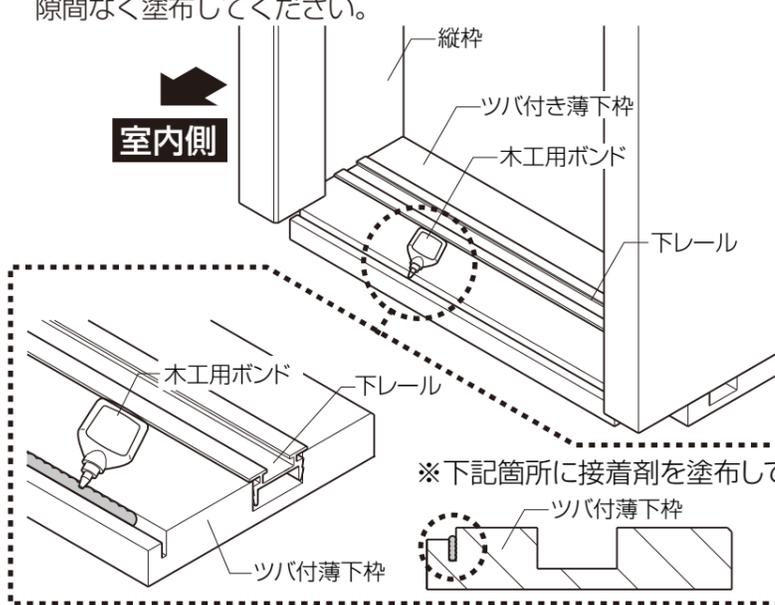


■ツバ材の取付け(ツバ付き薄下枠を使用する場合のみ)

①現場でツバ材の寸法を開口に合わせて切断してください。

③ツバ材を溝に手ではめ込んでください。

②ツバ付き薄下枠の溝に木工用ボンド(現場手配)を溝全長に隙間なく塗布してください。

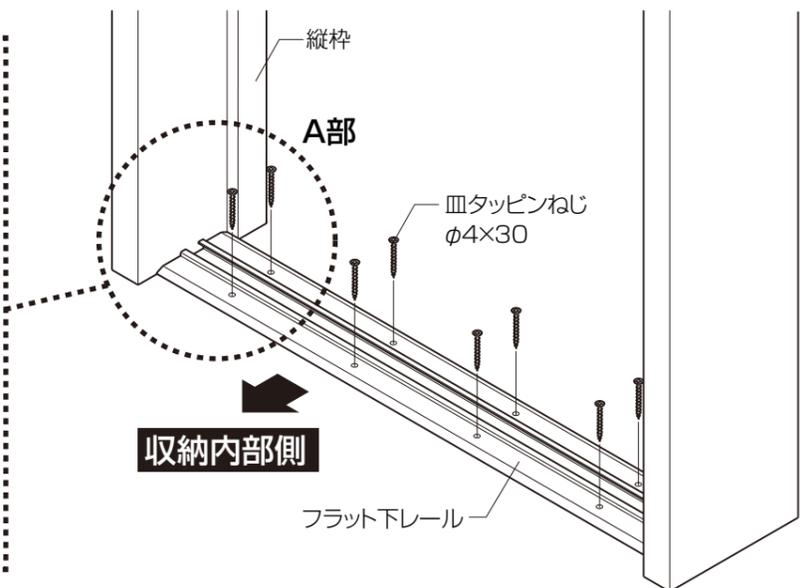
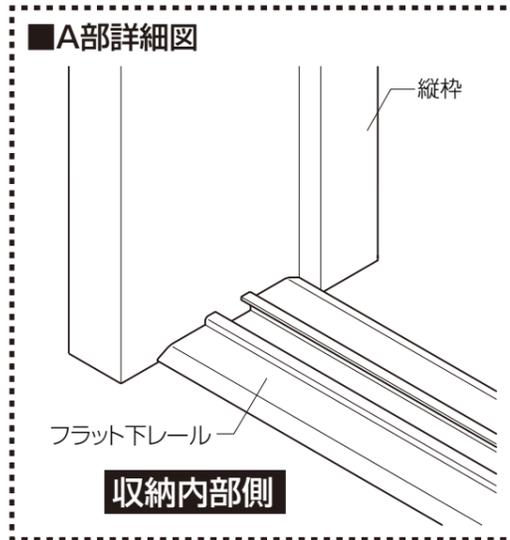


お願い
※ハンマーなどで強くたたき込まないでください。

■フラット下レールの取付け

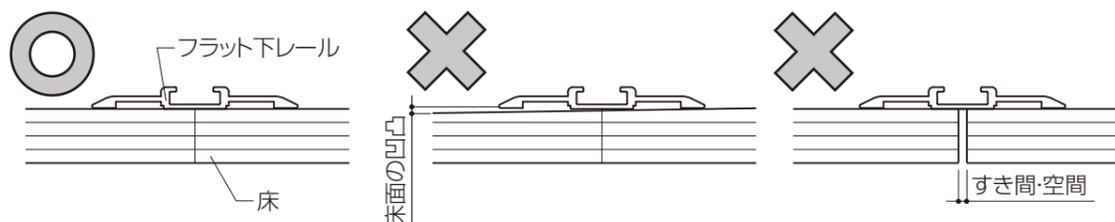
①A部詳細図のように、縦枠の段差部にフラット下レールを当てて、位置決めをします。

②フラット下レールをねじ(皿タッピンねじφ4×30)で固定します。



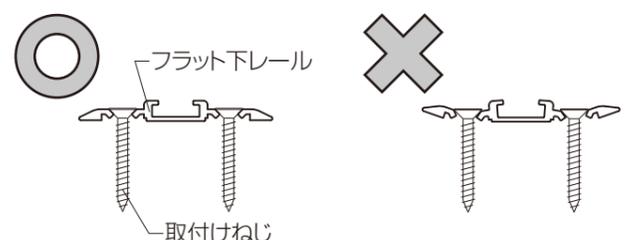
お願い

※フラット下レールを固定する床(下地)は、段差やすき間がないように仕上げからレールを固定してください。



お願い

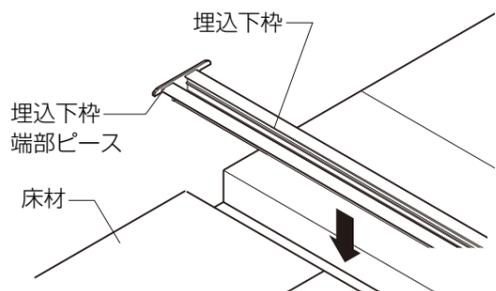
※フラット下レールを取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。



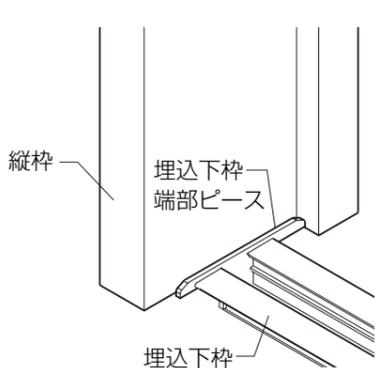
■埋込下枠の取付け

- ①埋込下枠端部ピースを取付けた状態で床に埋込みます。(図-1)
- ②(図-2)のように縦枠段差部に埋込下枠端部ピースをあて位置決めをし、上枠・縦枠を開口部に固定します。(図-3)
- ③埋込下枠をねじ(皿木ねじφ3.5×20)で固定します。(図-4)

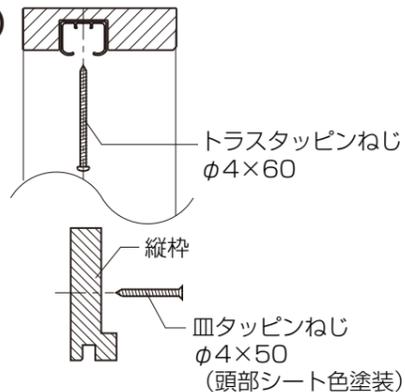
(図-1)



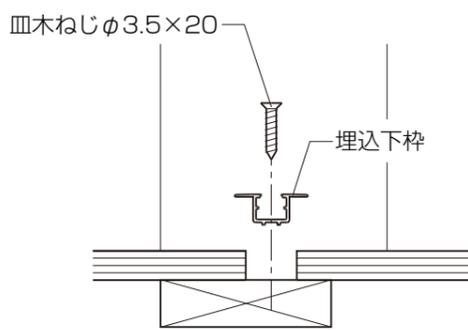
(図-2)



(図-3)



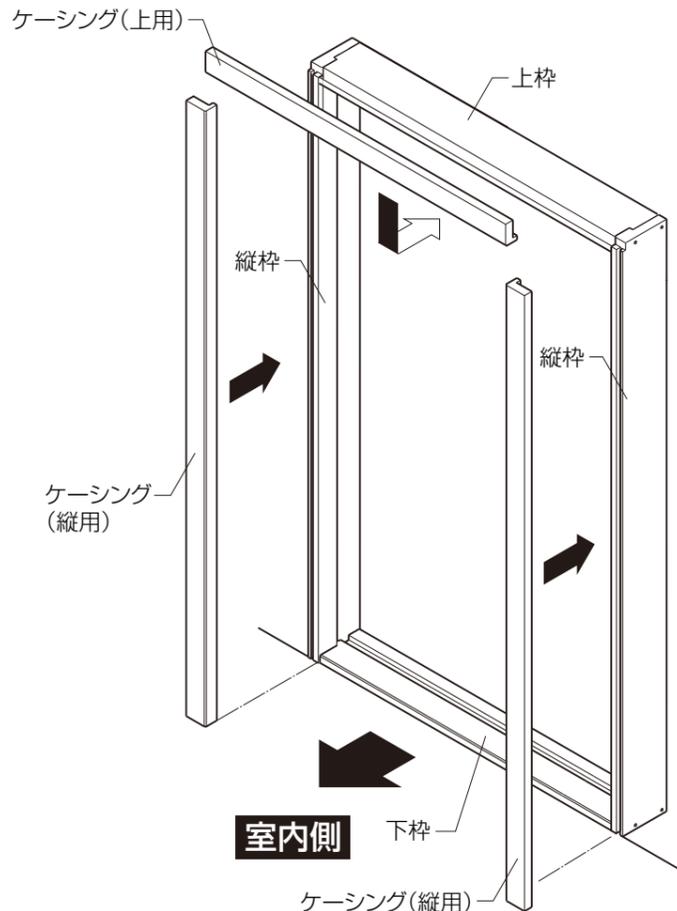
(図-4)



■ケーシングの取付け

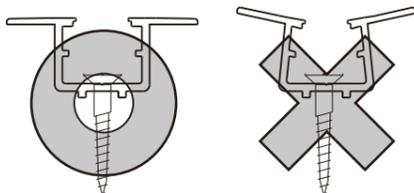
【ケーシングタイプのみ】

- ※壁材・床材を仕上げしてからケーシングを取付けてください。
- ①別梱のケーシングを現場寸法に合わせて切断します。(上用ケーシングは枠に合わせてあらかじめカットしてあります。)
 - ②枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシング裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシングを固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



埋込下枠取付け上のお願い

※埋込下枠取付けねじの締めすぎにご注意ください。埋込下枠を変形させると本体の開閉不具合につながります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。

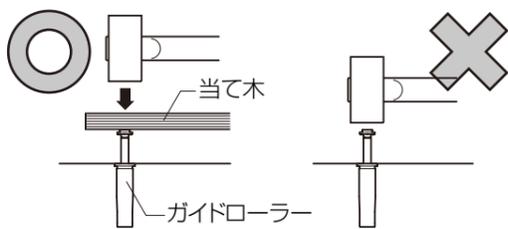


■本体の吊込み

- ①ガイドローラーを本体下部の加工穴に圧入します。
※ミラータイプの本体は、1つの枠の中に、1枚のみとしてください。

お願い

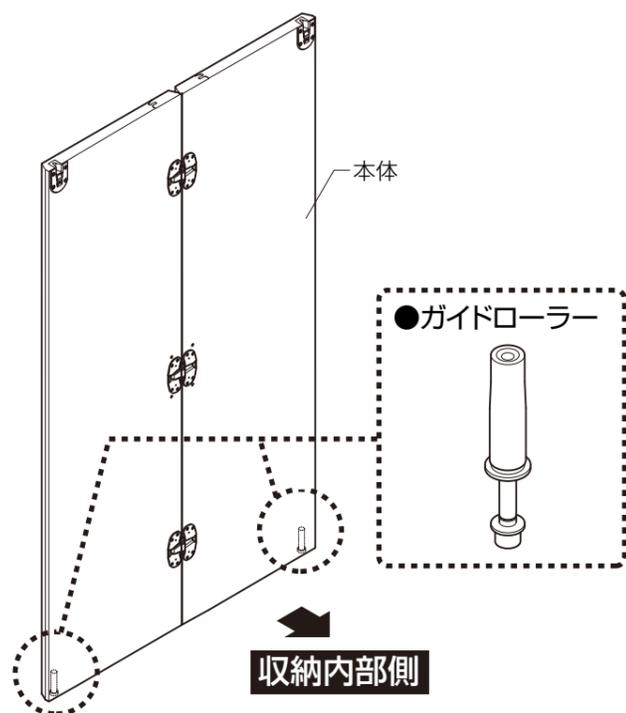
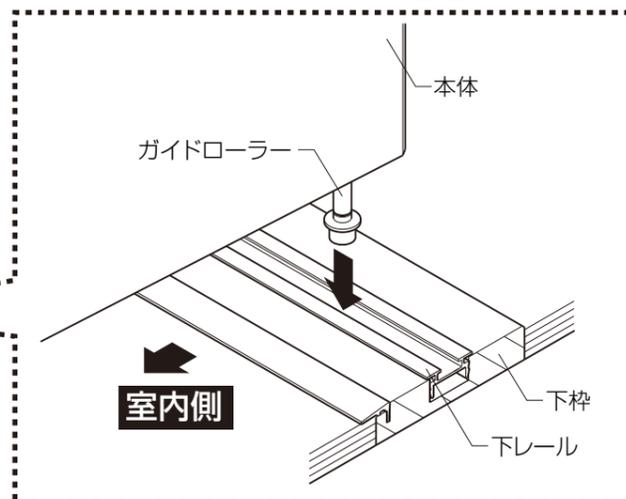
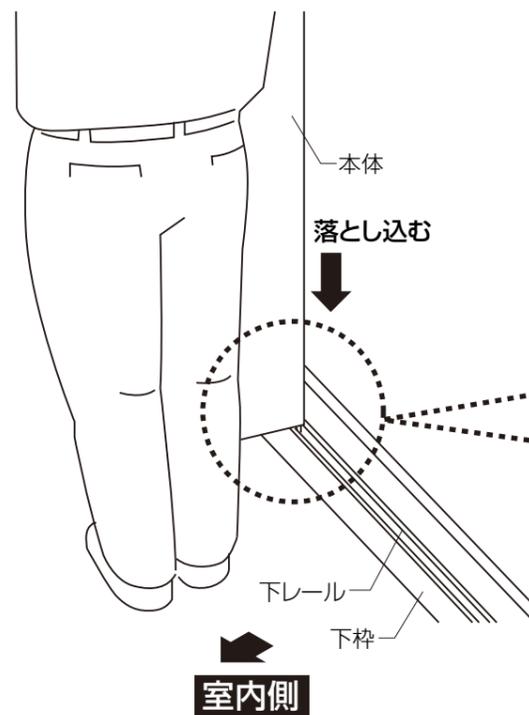
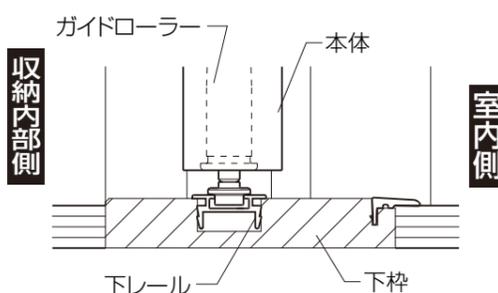
※ガイドローラーを圧入する際は、樹脂部に当て木を使用してください。



- ②ガイドローラーを下レールへ落とし込みます。

お願い
※ガイドローラーが下レールに入っていることを確認してください。
※ガイドローラーで枠や床面などにキズを付けないようにしてください。

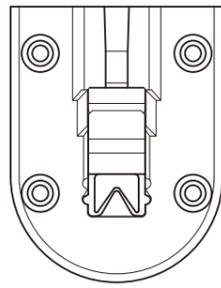
薄下枠を使用する場合



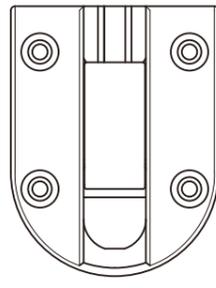
お願い

※本体上部に取付け済みの吊車受け部品形状をご確認ください。
形状によって、吊込み完了確認、本体の外し方の操作方法が異なります。

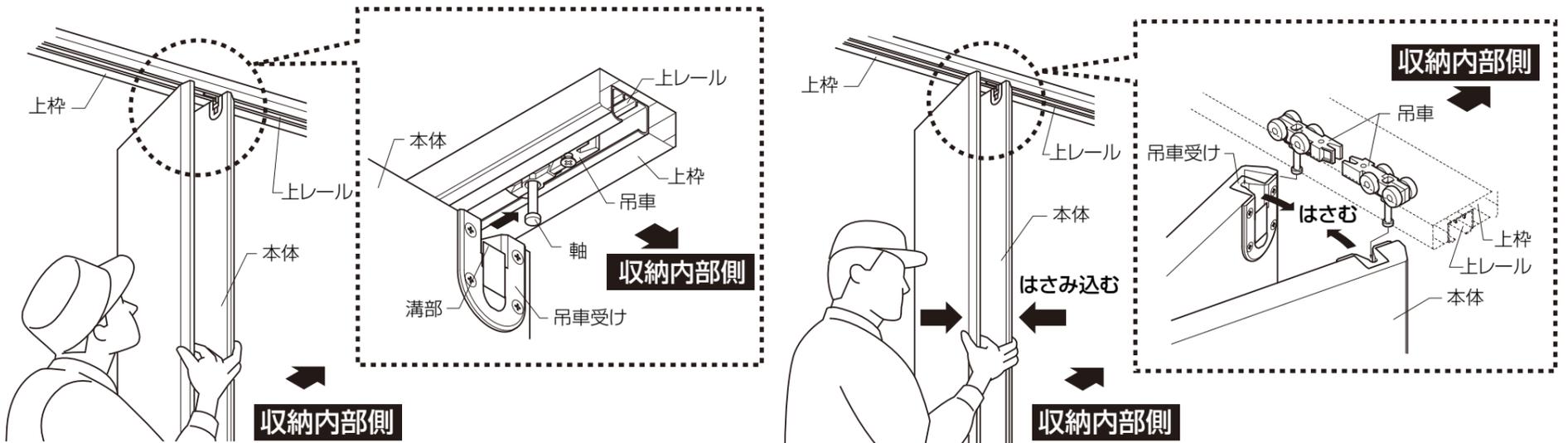
A部品



B部品



③本体上部の吊車受けの溝部に、上レールに取付けた吊車の軸を差込みます。 ④本体で左右からはさみ込むようにします。

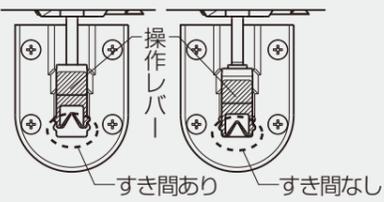


⑤本体をはさみ込んだまま、「ガチャ」と音がするまで上に持上げてください。吊車受けと吊車の軸が固定されます。

▲ 注意

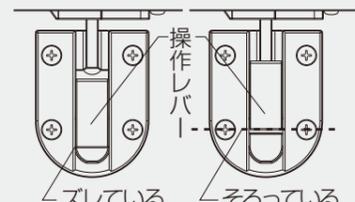
●吊込み後、本体をゆすって外れないことを確認してください。吊込みが完了していないと本体が落下するおそれがあります。

【A部品の場合】

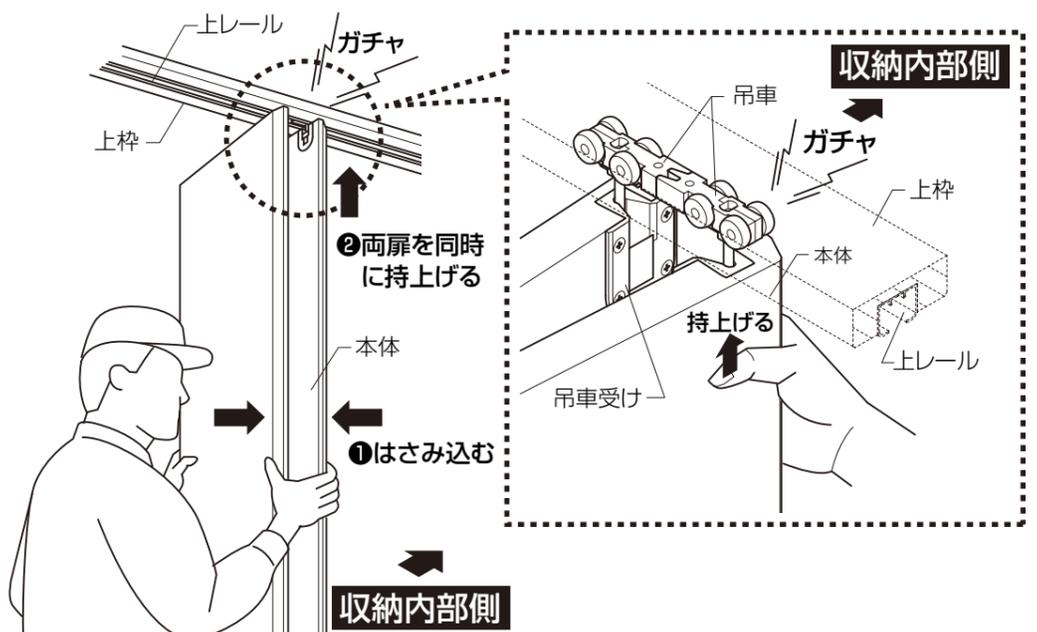


※吊込み完了は、操作レバーが下に下がっている状態です。(すき間なし)

【B部品の場合】



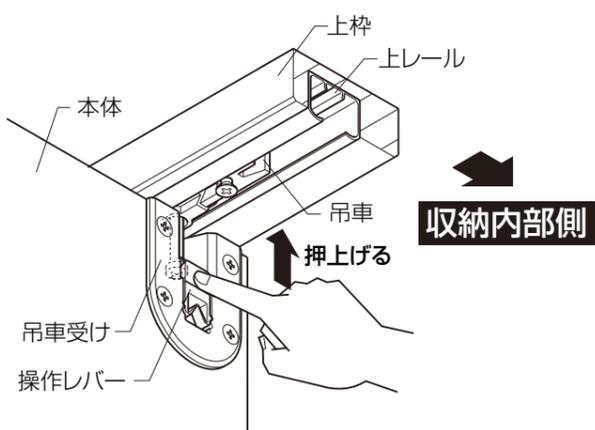
※吊込み完了は、操作レバーの下端がねじ中央位置とそろっている状態です。



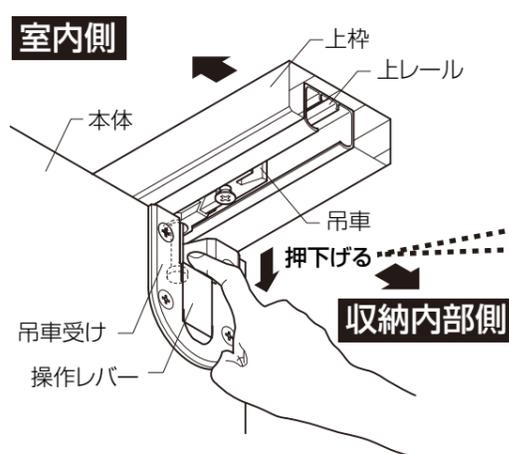
■本体の外し方

①本体上部の吊車受けの操作レバーを、固定されるまで動かしてください。

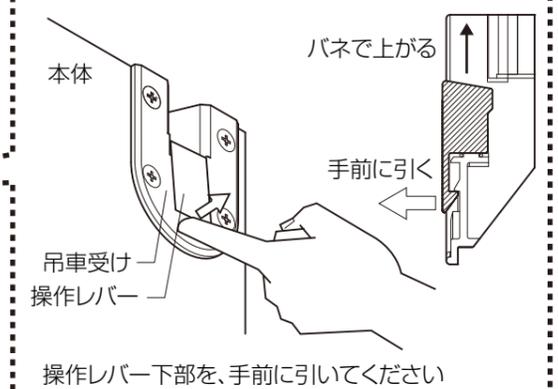
【A部品の場合】



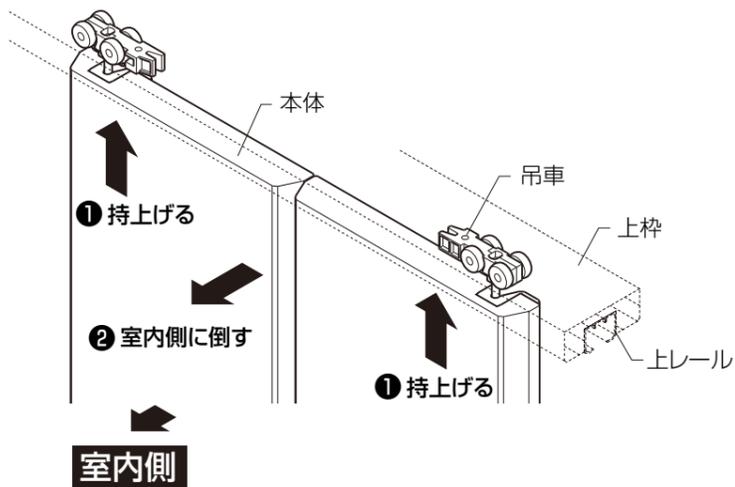
【B部品の場合】



B部品 固定解除方法



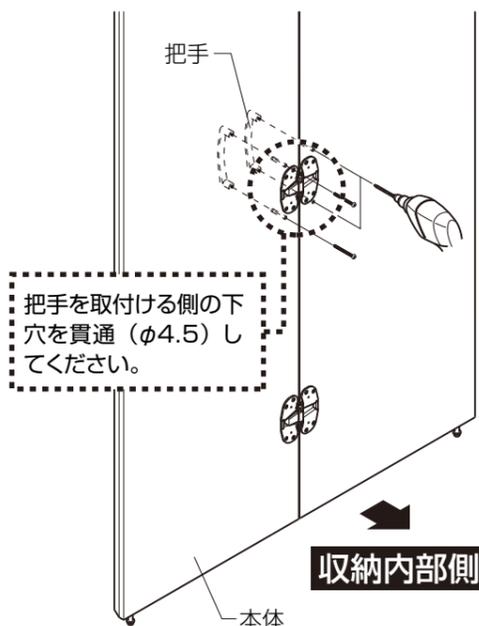
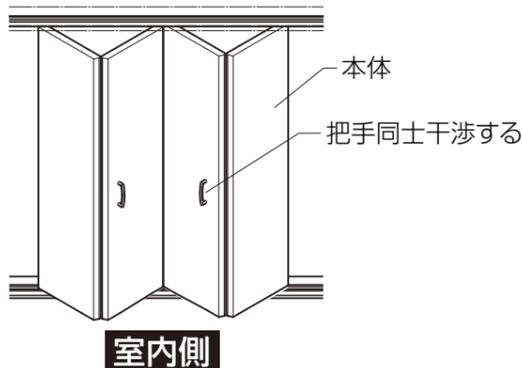
②本体を開いた状態で、本体を上を持ち上げながら室内側に倒してください。吊車の軸が吊車受けから抜け、本体が外れます。



■ 把手の取付け

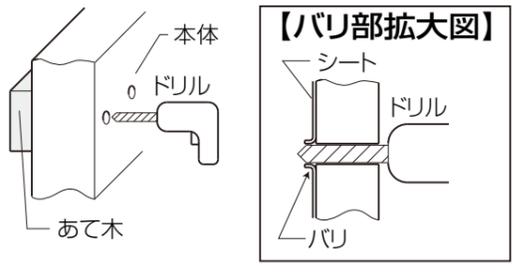
※2枚の本体の裏面に把手取付け用の下穴が中間位置まであけてあります。
把手を取付ける側の本体の下穴を貫通(φ4.5)してください。

● 把手取付け時のお願い ●
※フリータイプの際に、本体を折った状態で向かい合わせになる本体それぞれに把手を取付けしないでください。
把手同士が干渉してキズが付く原因となります。



把手取付け時のお願い

※把手穴を貫通する際は、バリ発生防止のため本体表側に必ずあて木をしてください。それでもバリが出た場合は、無理にはがさず、そのまま把手を取付けてください。(多少のバリは把手の下に隠れます。)



■ 召し合わせ部品の取付け (本体が2P以上の場合のみ)

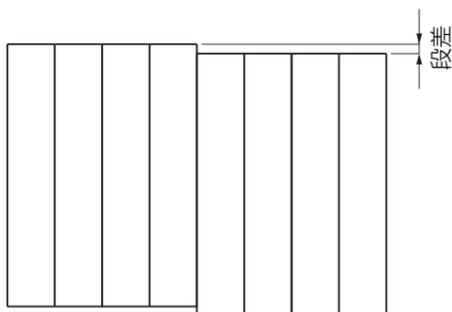
※召し合わせ部品の部品セット内に同梱している取付説明書を参照願います。

■ 調整

※本体の段違い(上・下)を調整します。

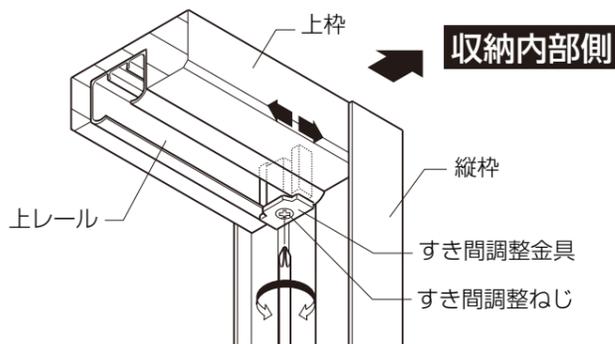
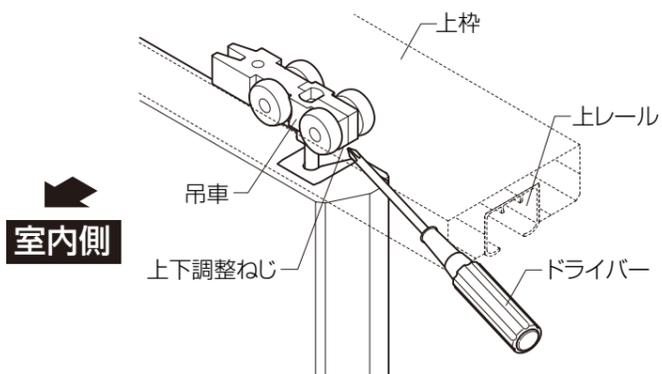
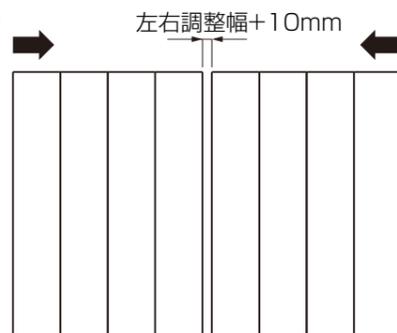
【段違い(上・下)の調整】

● 本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回し調整してください。
調整範囲
(上方向:5mm、下方向:1mm)



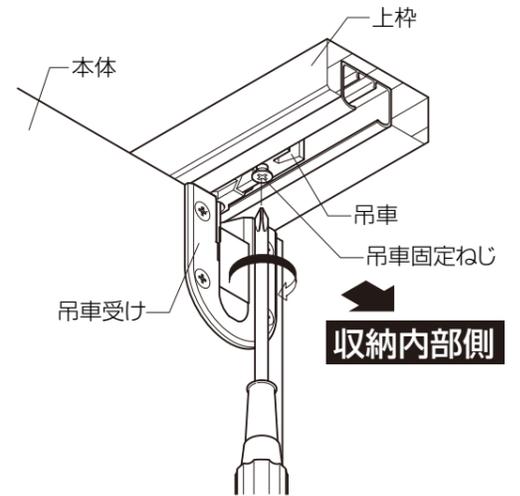
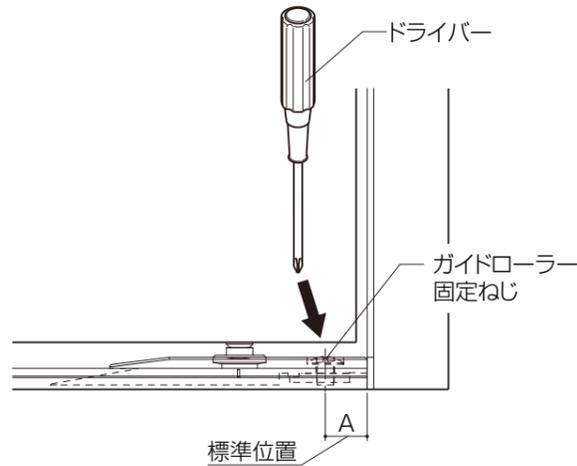
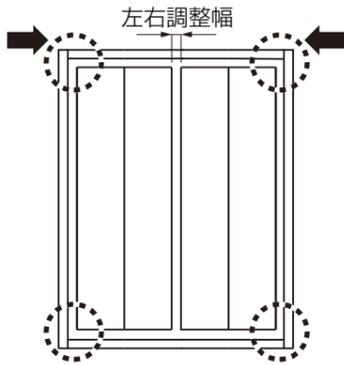
【すき間(左・右)の調整】(フリータイプの場合)

● 本体間のすき間が大きい場合、上レールの端部(左右)に付いているすき間調整金具で調整できます。
すき間調整ねじをドライバーで回し、調整してください。すき間調整ねじを右に回すと、すき間が小さくなります。
注) すき間調整金具は、上レールの左右に付いています(W07・08は、片側のみ)ので、左右均等に調整してください。



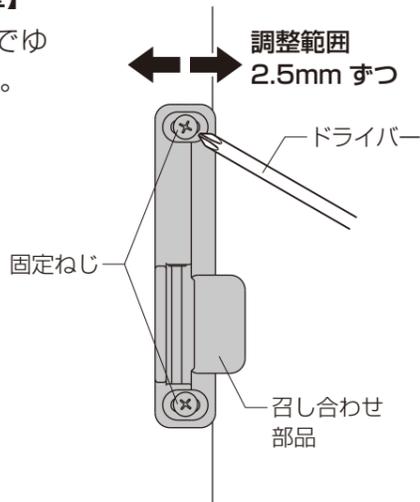
【すき間(左・右)の調整】(ピボットタイプの場合)

- ガイドローラー固定金具(本体用部品セット同梱)の取り付け方法は【フリー→ピボットの変更】を参照してください。
- 本体間のすき間が大きい場合、吊車及びガイドローラー固定金具で左右調整を行います。
- 本体をずらしてガイドローラー固定金具の固定ねじをプラスドライバーでゆるめて移動させます。
- 吊車固定ねじをドライバーでゆるめて移動させます。



【召し合わせ部品の調整】

- 固定ねじをドライバーでゆるめて調整してください。

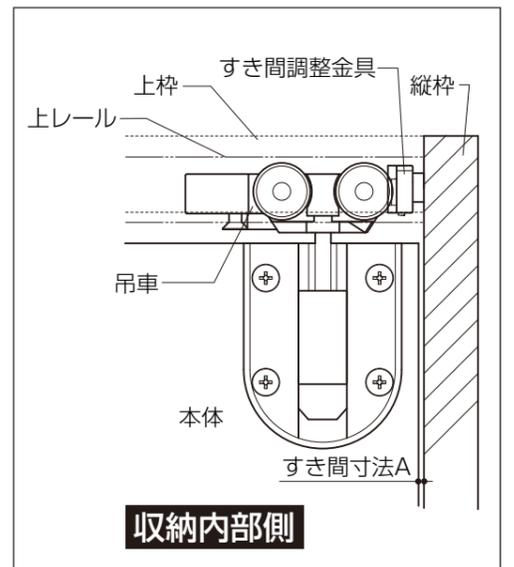


【フリー→ピボットの変更】

●本体上部の固定

- ①本体をピボットにしたい位置まで移動させます。
- ②固定したい本体側の上部吊車に付いている“吊車固定ねじ”を回し、吊車が固定されるまでねじを回します。
- ③本体を左右にゆすって本体が固定されたかどうかを確認します。

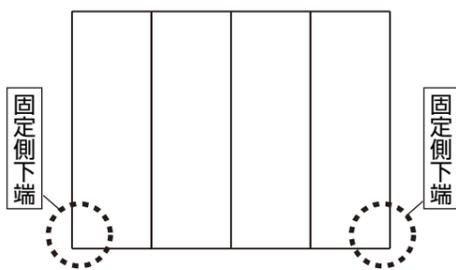
	すき間寸法A(mm)
本体1Pの時(W07、08)	3.5
本体2Pの時(W12、13、16、18)	4
本体3Pの時(W24、26、27)	3.5



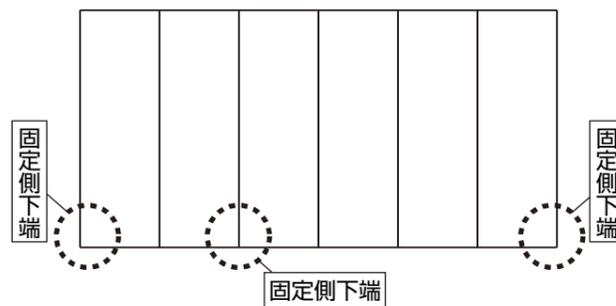
●本体下部の固定

※ピボットタイプとして本体を使用する場合は、ガイドローラー固定金具(本体部品セット同梱)を用いて本体固定側の下端を固定してください。

●本体2P固定の場合

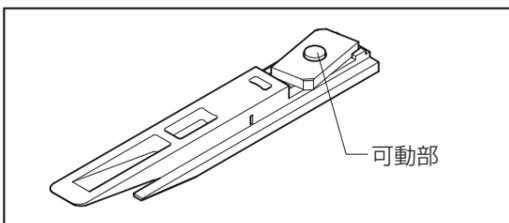


●本体3P固定の場合



- ①本体を正しい位置に移動させて、本体垂直がでているか確認します。
- ②ガイドローラー固定金具可動部を下図のように長手方向に向けます。

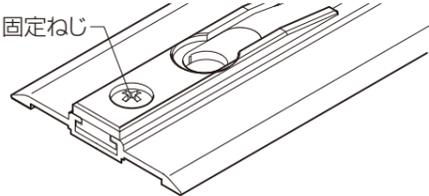
●ガイドローラー固定金具



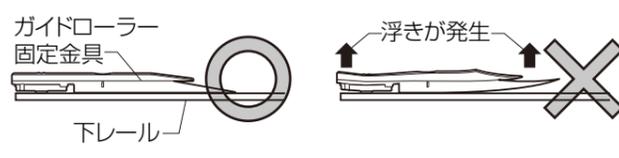
●ガイドローラー固定金具使用数量

	数量
本体1体固定の場合	1個
本体2体固定の場合	2個
本体3体固定の場合	3個
本体4体固定の場合	4個

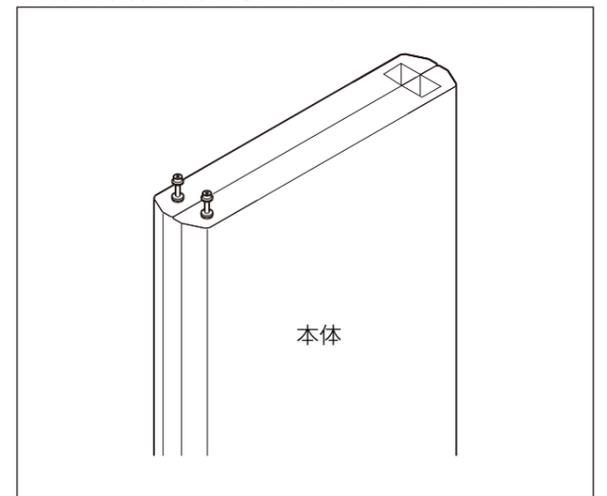
- ③ガイドローラー固定金具可動部を長手方向に保ったまま下レールに取付けます。固定ねじをプラスドライバーにて締め付けてください。



※固定ねじの締めすぎにご注意ください。ガイドローラー固定金具を変形させると本体と干渉し本体やガイドローラー固定金具の破損につながります。ねじの締めすぎによりガイドローラー固定金具が下レールより浮き上がっている場合は、ねじをゆるめてください。

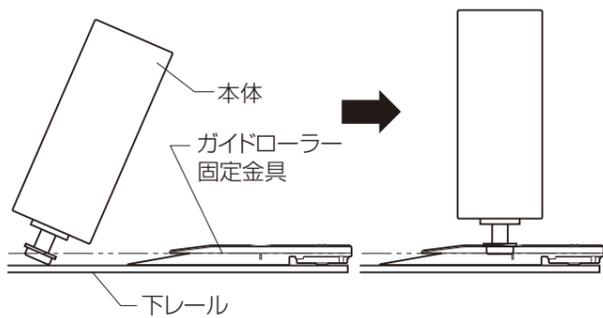


- ④本体のガイドローラーをガイドローラー固定金具に取付けます。
- 1.下図のように本体をたたみます。
- 2.ガイドローラーがガイドローラー受けにはまる(「カチッ」と音がする)まで本体を立てます。
- 3.別の本体も同じ手順で吊込んでください。

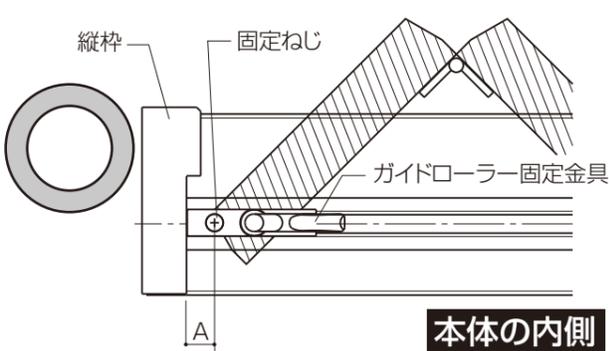


⑤ガイドローラー固定金具の取付け向きは、下図のように固定ねじが本体の外側になるよう、取付けてください。ガイドローラー固定金具の固定位置は、右図を参照してください。

⑥固定ねじをプラスドライバーで右に回します。ガイドローラー固定金具が動かないよう固定されたかどうか、確認してください。

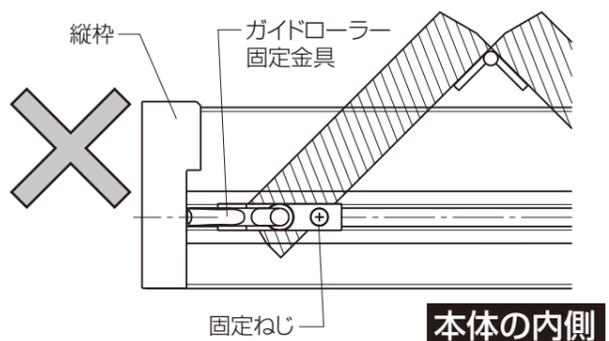


固定ねじの中心までの寸法	A
W12,13,16,18の場合	13.5
上記以外の場合	13



本体の内側

▲固定ねじの中心を示す。

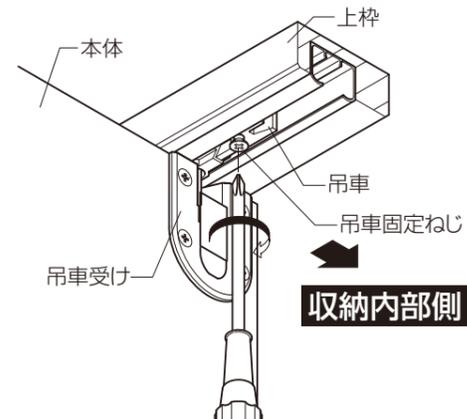


本体の内側

【ピボット→フリーの変更】

①吊車の吊車固定ねじを、ねじの回転が重くなるまでゆるめてください。緩める量が少ないと吊車の動きが悪くなり開閉不具合の原因となります。

②ガイドローラーをガイドローラー固定金具から外し、ガイドローラー固定金具の固定ねじを緩めてレールから外してください。この時、ガイドローラーは必ず下レールにはめ込んでください。



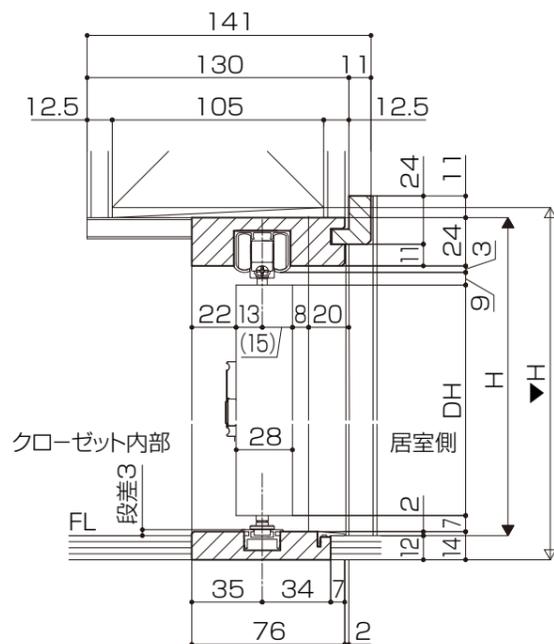
収納内部側

■納まり図

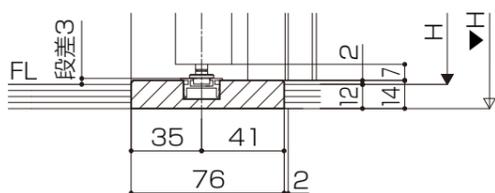
【クローゼット折れ戸ユニットケーシング付】

基本寸法 (mm)	W呼称	07	08M	12	13M	16
	W (SW)	734 (693)	824 (783)	1183 (570)	1323 (640)	1643 (800)
	W呼称	18M	24	26	27M	
	W (SW)	1823 (890)	2443 (800)	2581 (846)	2713 (890)	
	H呼称	20	23			
	H (DH)	2023 (1978)	2306 (2261)			

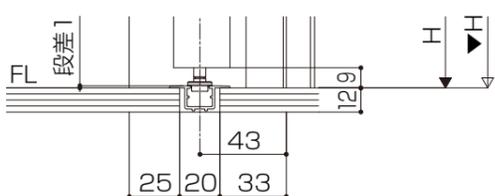
●縦断面図



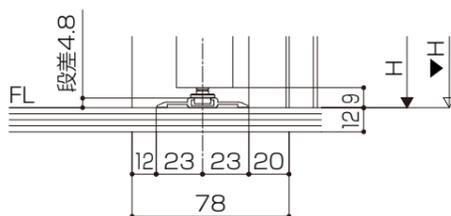
ツバ付薄下枠使用(3方枠)



ツバなし薄下枠使用(4方枠)

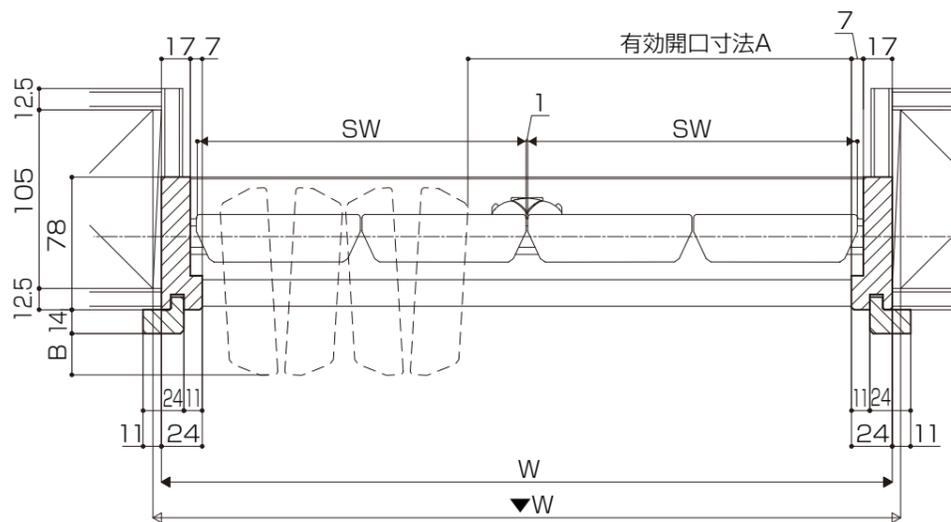


埋込下枠使用(3方枠)



フラットレール使用(3方枠)

●横断面図



W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
W07 (734)	566	265
W08M (824)	657	310
W12 (1183)	894	204
W13M (1323)	1034	239
W16 (1643)	1355	319
W18M (1823)	1534	364
W24 (2443)	2033	319
W26 (2581)	2171	342
W27M (2713)	2303	364